



# 藤本 みのる 通信

Vol 356

2020年8月18日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

## 終戦 75 年の夏

終戦 75 年の 8 月。日本の戦争について、右の本を読みながら考えました。特に、「韓国は嘘ばかり言ってる」という嫌韓感情には深さを感じていたので、腑に落ちました。

「西郷は三条実美に宛て、朝鮮に対する開戦が、名分のないまま行われるならば、明治維新の大業が無に帰してしまおうと述べています」(p 46)

「内にデモクラシー、外に帝国主義」「維新当時のような国家の元気を取り戻し、国家覆滅を回避する道としての、立憲と征韓という組み合わせ」「教科書的な説明にみられるような、士族の内乱を防ぐために対外侵略をガス抜きに使おうとした態度とは、全く違う」(p 48)

「征韓論にみえる論理は、日本人の目から見て文明開化を肯定しない国家・朝鮮に対する優越感に満ちた侮蔑の感覚から生じている点は確か」(同)

「日本の独立を守るために必要だと観念されたことが、朝鮮に対する侵略という点を、読み手や聞き手に自覚させないままで論理を展開することも可能になります」(p 82)

いま世界をみれば、コロナ危機の中で過去の過ちや体制を見直し、新たな社会を模索する動きが広がっています。日本でも…と心に誓いました。

## 夏読書



加藤陽子 (東大教授) 2002 年

「本書が最終的に描こうとしているのは、為政者や国民が『だから戦争をしていいのだ』という感覚をもつようになるのは、いかなる論理と筋道を手にした時なのかという、その歴史的経緯についてです」(p 21)

## 【藤本みのる活動日誌】

- 8月 5日(水) 田んぼに防鳥ネットはり
- 8月11日(火) 市議会広報委員会
- 8月18日(火) 議員定例懇談会、議員定数等調査特別委員会